

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2022.4.26
No.470



業況 BSI 2 期ぶり低下 (2022 年 1～3 月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2022 年 1～3 月期の県内企業の業況実績
2022 年 4～6 月期の県内企業の業況見通し
特別調査 県内企業の 2022 年度新卒者採用状況

【調査結果概要】

1. 2022 年 1～3 月期の業況

- (1) 業況 ⇒ 「業況 BSI」 $\Delta 19.2$ (前期比 13.3 ポイント低下) 2 期ぶり低下
- (2) 地区別 ⇒ 「業況 BSI」 県南上昇、青森と津軽低下
- (3) 売上高・出荷高・受注高 ⇒ 「売上高 BSI」 2 期ぶり低下、「出荷高 BSI」 3 期連続低下
「受注高 BSI」 3 期ぶり低下
- (4) 採算 ⇒ 「採算 BSI」 2 期ぶり低下
- (5) 設備投資 ⇒ 「設備投資 BSI」 製造業 2 期ぶり低下、非製造業 7 期ぶり低下

2. 経営上の問題点 ⇒ 「仕入単価上昇」最多 以下「売上・受注不振」続く

3. 来期の見通し ⇒ 「業況 BSI」低下見込み $\Delta 24.5$ (当期比 5.3 ポイント低下)

◎調査要領

調査時期 2022 年 4 月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 312 社

回答企業 221 社 (回収率: 70.8%)

(産業別) 製造業 50 社 建設業 43 社 卸売業 51 社 小売業 28 社 運輸業・サービス業 49 社

(地区別) 青森地区 84 社 (青森市、むつ市、東津軽郡、下北郡)

県南地区 75 社 (八戸市、十和田市、三沢市、上北郡、三戸郡)

津軽地区 62 社 (弘前市、五所川原市、黒石市、平川市、つがる市、北津軽郡、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡)

※BSIとは ⇒ Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味。

業況判断は前年同期との比較によるものであり、指標の求め方は次の通り。

BSI = 「業況良好企業及びやや良好企業の割合」 - 「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

【本件の照会先】 あおもり創生パートナーズ株式会社 TEL : 017-718-3161 担当 : 竹内 慎司

1 2022年1～3月期の業況

[1] 業況 ～2期ぶり低下～

◎全産業「業況BSI」は、△19.2（前期比13.3ポイント低下）2期ぶり低下

製造業 △16.3（同12.5ポイント低下）、非製造業 △20.0（同13.4ポイント低下）

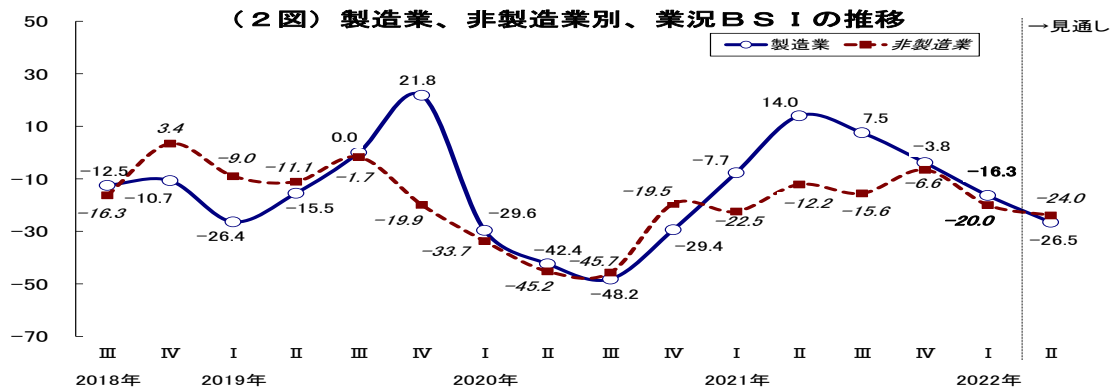
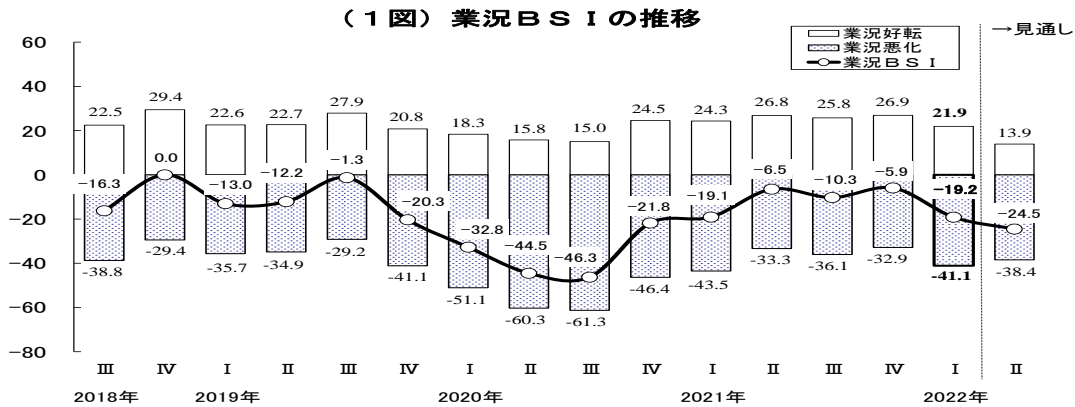
<上昇> 建設業 △9.5（同8.7ポイント上昇） 総合工事、設備工事が寄与

<低下> 小売業 △35.7（同24.2ポイント低下） 飲食料品、家具・什器などマイナス寄与

卸売業 △21.6（同21.6ポイント低下） 建築材料、繊維などマイナス寄与

運輸・サービス業 △18.4（同18.4ポイント低下） 不動産賃貸などマイナス寄与

製造業 △16.3（同12.5ポイント低下） 一般機械、生コンなどマイナス寄与



(1表) 産業別業況BSIの推移

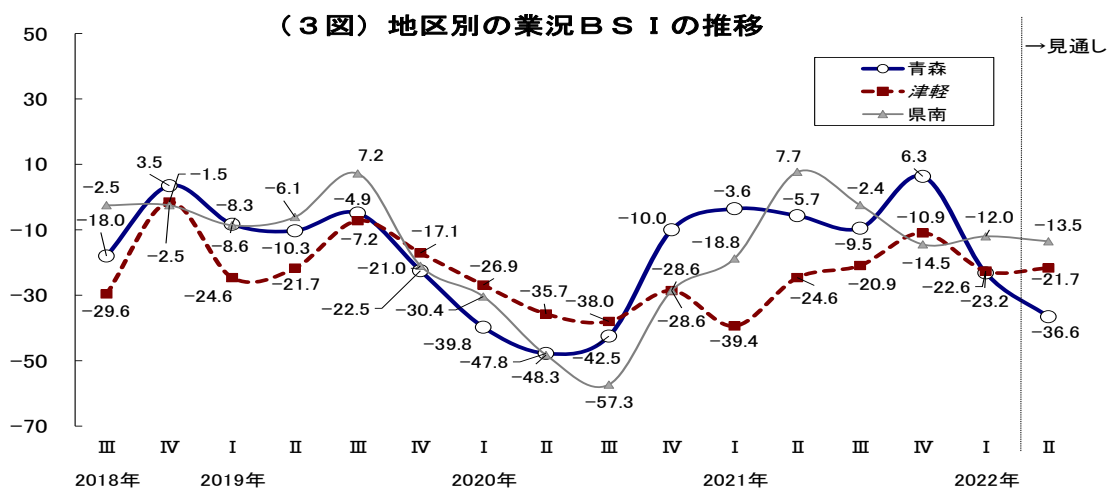
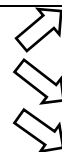
	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	非製造業	合計
2021年 1 - 3 月期	-7.7	-2.1	-22.6	-28.1	-40.0	-22.5	-19.1
4 - 6 月期	14.0	-14.6	-9.3	-33.3	0.0	-12.2	-6.5
7 - 9 月期	7.5	-10.9	-9.1	-26.7	-20.4	-15.6	-10.3
10 - 12 月期	-3.8	-18.2	0.0	-11.5	0.0	-6.6	-5.9
2022年 1 - 3 月期	-16.3	-9.5	-21.6	-35.7	-18.4	-20.0	-19.2
来期見通し	-26.5	-35.7	-24.0	-32.1	-8.5	-24.0	-24.5

[2] 地区別の業況 ～「業況 BSI」 県南上昇、青森と津軽低下

◎ 県南地区「業況 BSI」 $\Delta 12.0$ (前期比 2.5 ポイント上昇)

◎ 青森地区「業況 BSI」 $\Delta 23.2$ (同 29.5 ポイント低下)

◎ 津軽地区「業況 BSI」 $\Delta 22.6$ (同 11.7 ポイント低下)



(2 表) 地域別 B S I の推移

	業況BSI			生産高BSI			出荷高BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年 1 - 3 月期	-3.6	-39.4	-18.8	-7.1	-16.7	-4.2	6.7	-7.7	-12.5
4 - 6 月期	-5.7	-24.6	7.7	31.3	-9.1	22.7	25.0	8.3	13.6
7 - 9 月期	-9.5	-20.9	-2.4	7.7	9.1	7.7	6.7	16.7	11.5
10 - 12 月期	6.3	-10.9	-14.5	0.0	23.1	4.2	13.3	23.1	-25.0
2022年 1 - 3 月期	-23.2	-22.6	-12.0	12.5	-63.6	0.0	11.8	-54.5	-18.2
来期見通し	-36.6	-21.7	-13.5	-12.5	-45.5	13.6	-29.4	-36.4	4.5
	売上高BSI			受注高BSI			在庫投資BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年 1 - 3 月期	-13.5	-48.6	-32.5	-13.3	-23.5	0.0	0.0	-6.1	-10.6
4 - 6 月期	-5.4	-8.3	12.2	-12.5	-47.1	-13.3	1.9	2.9	4.9
7 - 9 月期	-11.3	-7.7	0.0	-6.7	-43.8	-13.3	10.0	18.8	-10.6
10 - 12 月期	-12.0	5.6	11.1	0.0	-53.3	0.0	6.4	31.3	2.3
2022年 1 - 3 月期	-29.4	-18.9	-10.3	-26.7	-28.6	-21.4	13.7	13.3	16.7
来期見通し	-26.9	-2.9	-2.6	-40.0	-35.7	-57.1	11.8	20.7	14.3
	設備投資BSI			採算BSI			資金繰りBSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2021年 1 - 3 月期	8.9	-24.6	-13.0	-1.3	-22.6	-14.1	12.5	0.0	13.0
4 - 6 月期	3.8	-8.2	-4.1	-12.2	-11.5	-2.6	12.3	-5.0	13.0
7 - 9 月期	2.5	-16.9	-11.5	-16.3	-15.9	-15.4	14.1	-4.7	5.1
10 - 12 月期	9.9	5.1	0.0	-1.3	-12.7	-10.0	14.3	-3.2	8.7
2022年 1 - 3 月期	-13.8	-1.7	0.0	-14.5	-28.8	-15.3	3.6	-3.3	6.8
来期見通し	-10.1	1.8	-5.9	-22.9	-22.4	-16.7	1.2	-1.7	6.9

[3] 売上高～2期ぶり低下～、出荷高～3期連続低下～、受注高～3期ぶり低下～

◎「売上高BSI」 $\Delta 20.5$ (前期比 20.5 ポイント低下) 2期ぶり低下 ↘

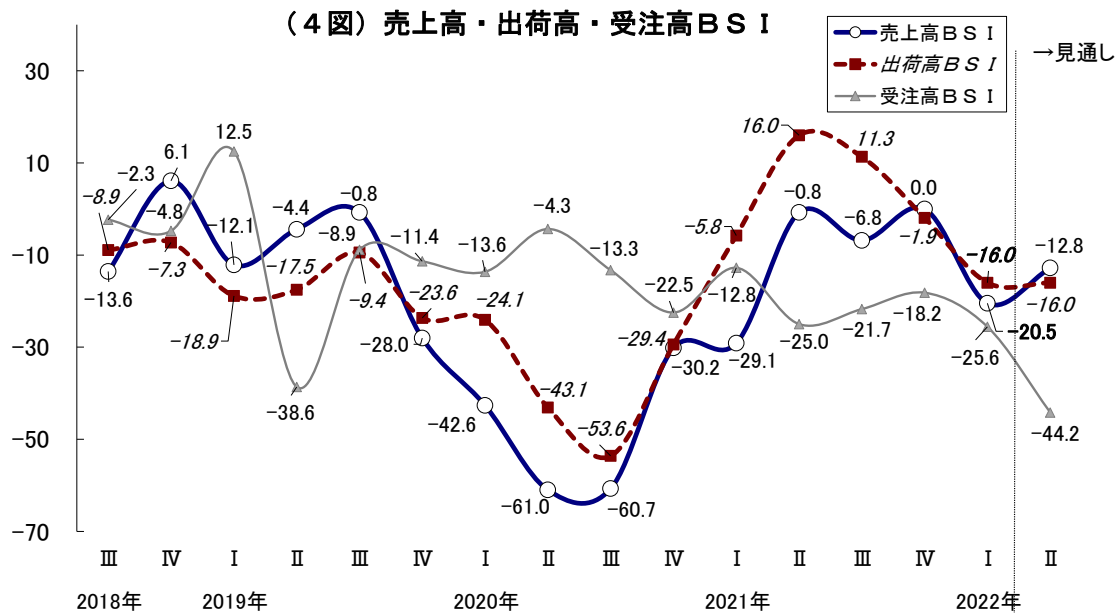
<低下> 小売業 $\Delta 40.7$ (同 29.2 ポイント低下) 家具・什器などマイナス寄与
 卸売業 $\Delta 17.6$ (同 21.8 ポイント低下) 建築材料などマイナス寄与
 運輸・サービス業 $\Delta 12.2$ (同 14.3 ポイント低下) 不動産賃貸、宿泊などマイナス寄与

◎「出荷高BSI」 $\Delta 16.0$ (前期比 14.1 ポイント低下) 3期連続低下 ↘

食料品、生コン、一般機械、電子部品・デバイスなどマイナス寄与

◎「受注高BSI」(建設業) $\Delta 25.6$ (前期比 7.4 ポイント低下) 3期ぶり低下 ↘

職別工事がマイナス寄与



[4] 採算 ～「採算 BSI」、2 期ぶり低下～

◎全産業「採算 BSI」△18.7（前期比 11.0 ポイント低下）2 期ぶり低下

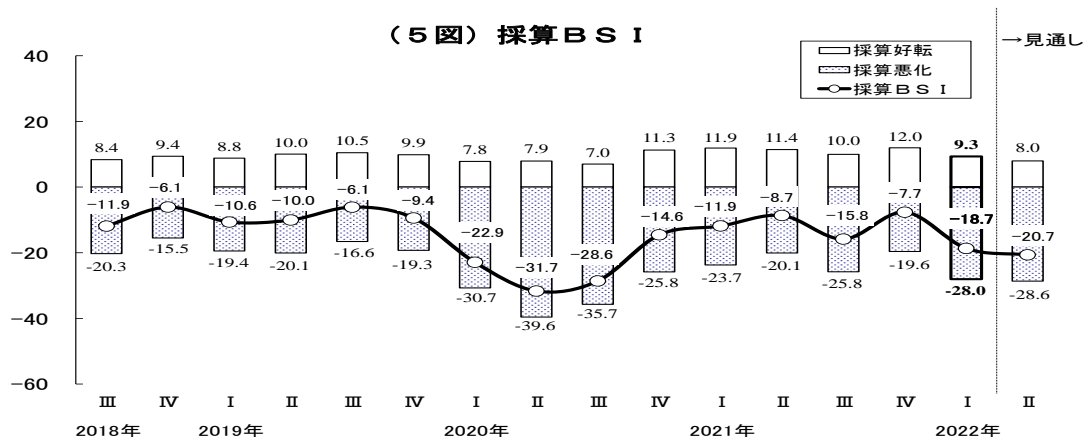
<上昇>「建設業」△4.9(同 4.6 ポイント上昇) 総合工事、設備工事が寄与

<低下>「運輸・サービス業」△31.9(同 29.6 ポイント低下) 運送、宿泊などマイナス寄与

「製造業」△30.0(同 14.3 ポイント低下) 食料品、一般機械器具などマイナス寄与

「卸売業」△8.0(同 8.0 ポイント低下) 飲食料品、繊維・衣服などマイナス寄与

「小売業」△15.4(同 3.9 ポイント低下) 自動車などマイナス寄与



[5] 設備投資 ～ 製造業、非製造業とも低下～

◎「製造業」△4.1（前期比 9.9 ポイント低下）2 期ぶり低下

食料品、生コンなどマイナス寄与

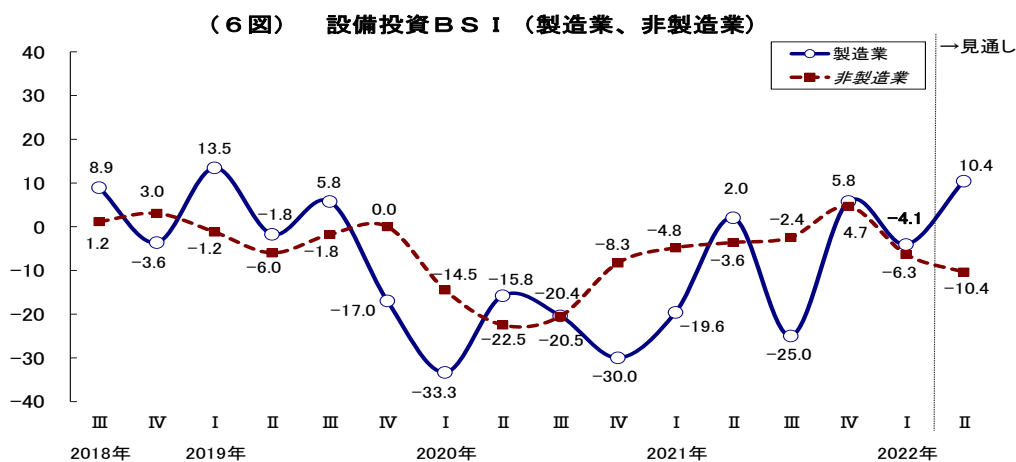
◎「非製造業」△6.3（前期比 11.0 ポイント低下）7 期ぶり低下

<上昇>「建設業」0.0(同 2.4 ポイント上昇) 総合工事、設備工事が寄与

<低下>「小売業」△26.1(同 30.1 ポイント低下) 自動車、飲食料品などマイナス寄与

「運輸・サービス業」0.0(同 13.6 ポイント低下) 宿泊、不動産賃貸などマイナス寄与

「卸売業」△8.7(同 11.3 ポイント低下) 飲食料品、建築材料などマイナス寄与



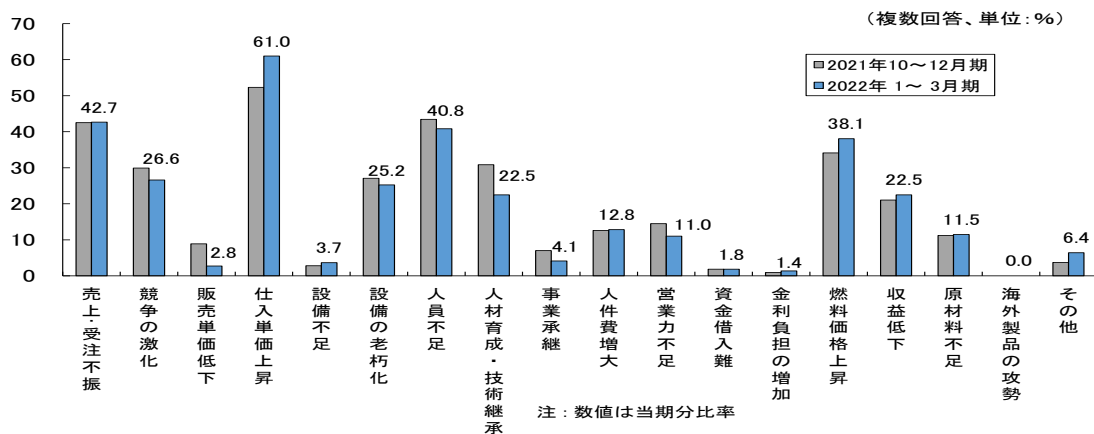
2

経営上の問題点 ～「仕入単価上昇」が最多～

◎「仕入単価上昇」が61.0%と最多

- ・全産業 「仕入単価上昇」最多 61.0% 次いで「売上・受注不振」 42.7%
- (製造業) 「仕入単価上昇」最多 78.0% 次いで「燃料価格上昇」 54.0%
- (非製造業) 「仕入単価上昇」最多 56.0% 次いで「売上・受注不振」 41.7%

(7図) 経営上の問題点



3

来期の見通し ～「業況BSI」低下～

◎来期(2022年4～6月期)の全産業「業況BSI」△24.5(当期比5.3ポイント低下)

<上昇>運輸・サービス業△8.5(同9.9ポイント上昇) 宿泊、不動産賃貸など寄与

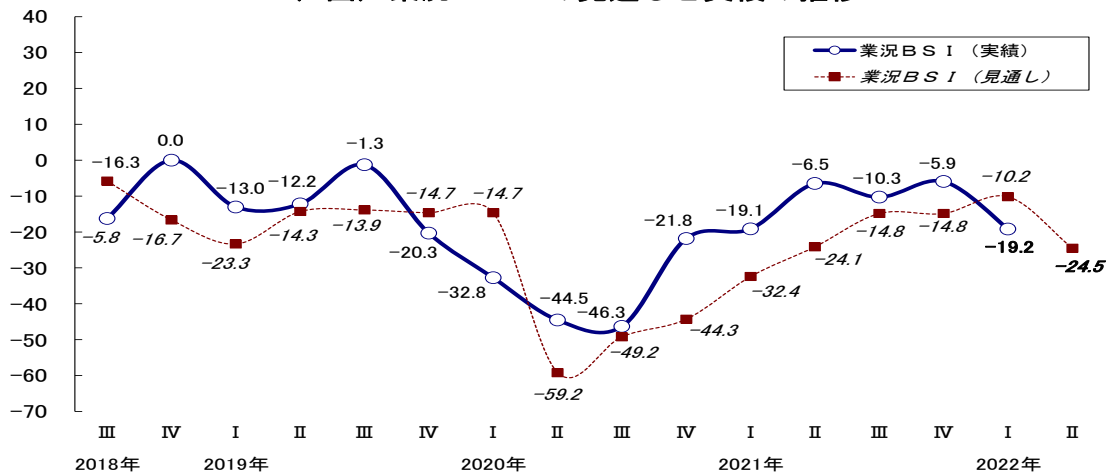
小売業 △32.1(同3.6ポイント上昇) 衣服、家具など寄与

<低下>建設業 △35.7(同26.2ポイント低下) 総合、職別、設備の全工事業種がマイナス寄与

製造業 △26.5(同10.2ポイント低下) 食料品、金属製品などマイナス寄与

卸売業 △24.0(同2.4ポイント低下) 建築材料、機械器具などマイナス寄与

(8図) 業況BSIの見通しと実績の推移



【特別調査】 県内企業の2022年度新卒者採用状況

1 新卒者採用状況

(1) 採用の有無 ・ 新卒者採用の企業は、回答221社のうち78社(35.3%、前年度比0.4%減)

1表. 新卒者採用を行った企業数

(単位:社,%)

		製造業 (50社)	建設業 (43社)	卸・小売業 (79社)	運輸・サービス業 (49社)	全産業計 (221社)
2022年	企業数	12	17	30	19	78
	採用割合	24.0%	39.5%	38.0%	38.8%	35.3%
2021年	企業数	15	17	29	18	79
	採用割合	30.0%	39.5%	36.7%	36.7%	35.7%

(2) 採用人員 ・ 新卒者採用回答企業社の新卒採用者数は281人(前年度比7.0%減)

2表. 県内企業の新卒者採用状況(前年対比)

		採用数(人)				採用企業数(社)	1社当たり平均採用数(人)
		大学	短大・専門	高校	合計		
全産業計	2022年採用数	106	42	133	281	78	3.6
	(2021年)	101	52	149	302	79	3.8
	増減率	5.0%	-19.2%	-10.7%	-7.0%	-1.3%	-
製造業	2022年採用数	15	2	28	45	12	3.8
	(2021年)	11	7	32	50	15	3.3
	増減率	36.4%	-71.4%	-12.5%	-10.0%	-20.0%	-
建設業	2022年採用数	8	6	21	35	17	2.1
	(2021年)	12	5	23	40	17	2.4
	増減率	-33.3%	20.0%	-8.7%	-12.5%	0.0%	-
卸・小売業	2022年採用数	50	19	45	114	30	3.8
	(2021年)	44	23	49	116	29	4.0
	増減率	13.6%	-17.4%	-8.2%	-1.7%	3.4%	-
運輸・サービス業	2022年採用数	33	15	39	87	19	4.6
	(2021年)	34	17	45	96	18	5.3
	増減率	-2.9%	-11.8%	-13.3%	-9.4%	5.6%	-

2 初任給の状況

- ・ 大学卒は、製造業では技術・営業系が高いが、他の業種では事務系が高い
- ・ 短大・専門卒は、製造業、建設業、運輸・サービス業では技術・営業系が高く、卸・小売業では事務系が高い
- ・ 高校卒は、製造業と卸・小売業では事務系が高く、建設業と運輸・サービス業では技術・営業系が高い

3表. 県内企業120社の初任給

(単位:円,%)

	大学卒		短大・専門卒		高校卒	
	事務系	技術・営業系	事務系	技術・営業系	事務系	技術・営業系
全産業計	189,991	185,364	166,191	166,375	153,630	159,014
製造業	197,000	200,667	165,000	167,000	151,600	150,875
建設業	207,667	181,250	157,500	168,500	151,500	165,380
卸・小売業	188,740	187,481	168,500	160,963	158,774	156,823
運輸・サービス業	183,055	177,713	168,525	171,257	146,963	161,873

注) 回答企業の単純平均による。

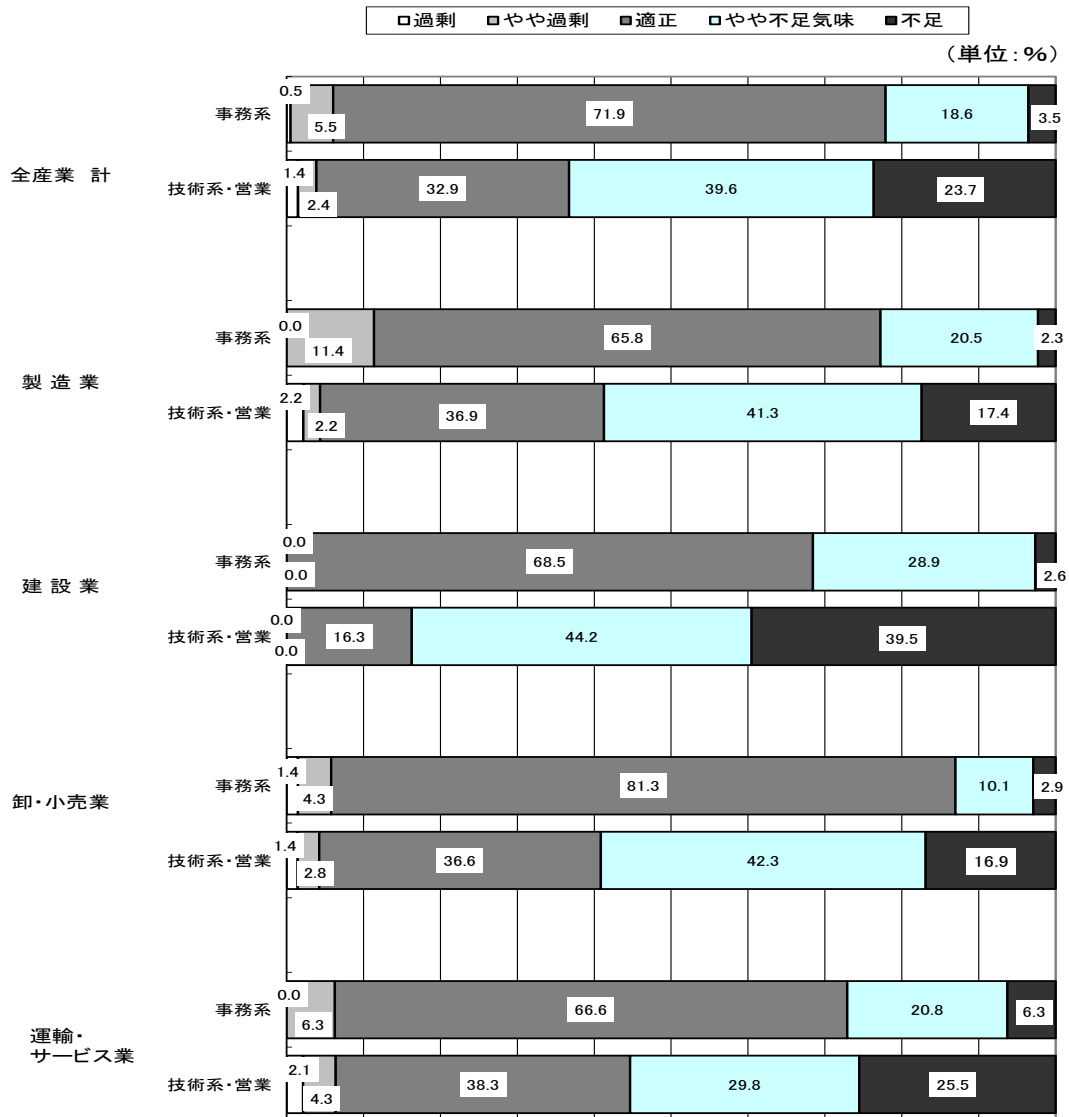
3 従業員の過不足感

全産業<事務系> ・「適正」71.9%、「不足」、「やや不足気味」22.1%、「過剰」、「やや過剰」6.0%

<技術系・営業>・「適正」32.9%、「不足」、「やや不足気味」63.3%、「過剰」、「やや過剰」3.8%

⇒ 事務系は「適正」が7割強、一方、技術系・営業は「不足感」が6割強

1図. 従業員の過不足感



【本件に関する照会先】

あおもり創生パートナーズ株式会社

担当：竹内 慎司

TEL. 017-718-3161